

科目4

対応段階

講義のねらいと構成

ねらい

- ・対応段階の目的を理解する。
- ・対応段階における情報収集・整理について理解する。
- ・虐待対応計画作成の目的、作成手順について理解する。
- ・背景や要因分析を意識した対応計画の作成を理解する。

構成

1. 対応段階の概要と範囲 (手引き 5章)
2. 情報の収集と虐待発生要因・課題の整理 (手引き 5章-1)
3. 虐待対応計画(案)の作成 (手引き 5章-2)
4. 虐待対応ケース会議 (手引き 5章-3)

(1) 対応段階の概要

(手P. 80、●p82)

対応段階では、主に虐待の解消と高齢者が安心して生活を送るための環境整備をめざして、必要な対応を行う。

まずは、虐待の解消をめざし、時には虐待の解消以前から、虐待が解消されたあとに高齢者が安心して生活を送るための環境整備についても取り組んでいくことになる。

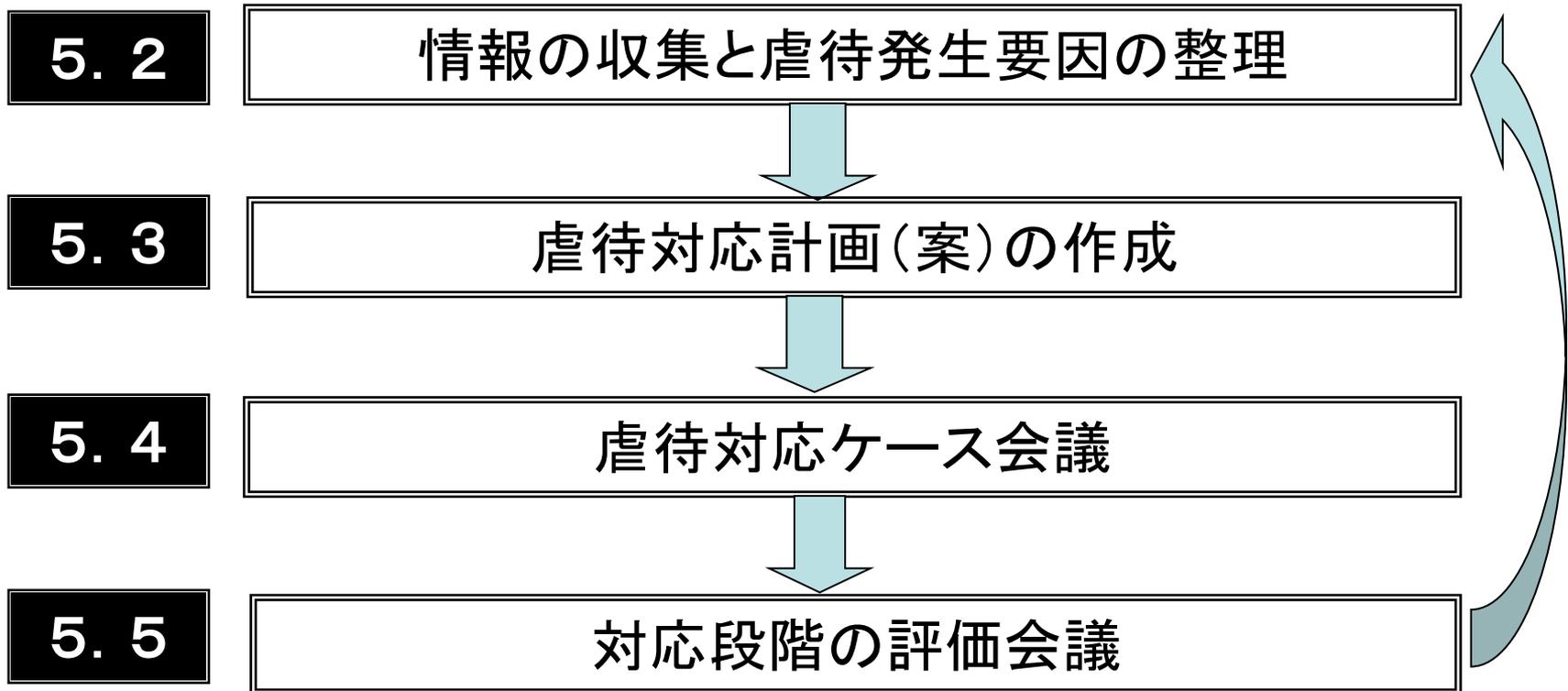
(2) 対応段階に該当する法的根拠

(手P. 80、●p82)

高齢者虐待防止法では、市町村が相談や通報、届出を受け付けた場合、高齢者虐待対応協力者とその対応について協議を行うことが規定されており(第9条第1項、第16条)、対応段階における市町村と虐待対応協力者による必要な協議、虐待対応計画の作成と実施、評価などの一連の取り組みが、該当する。

(3) 対応段階の範囲

(手P. 80、●p83)



情報収集と虐待発生要因

・課題の整理

(手P. 81、●p84)

ポイント

- ◆対応段階における情報収集・整理の目的は、虐待発生の変因と、高齢者が安心して生活を送るための環境整備に向けた課題やニーズを明確化することにある。
- ◆虐待の解消に向けては、虐待発生変因の明確化が不可欠です。そのためには、収集した個々の情報から虐待発生のリスクを探り、それらの相互の関係性を整理・分析することが必要となる。
- ◆虐待解消に向けた取り組み課題とともに、高齢者が安心して生活を送るために必要な対応課題やニーズにも着目して、虐待対応計画に反映させていく。

(1) 対応段階における 情報収集・整理の2つの目的

- 1) 虐待発生要因の明確化
- 2) 高齢者が安心した生活を送るための環境整備に向けた課題やニーズの明確化

(2) 情報整理項目と虐待発生リスクの例-1

(手P. 82、●p85)

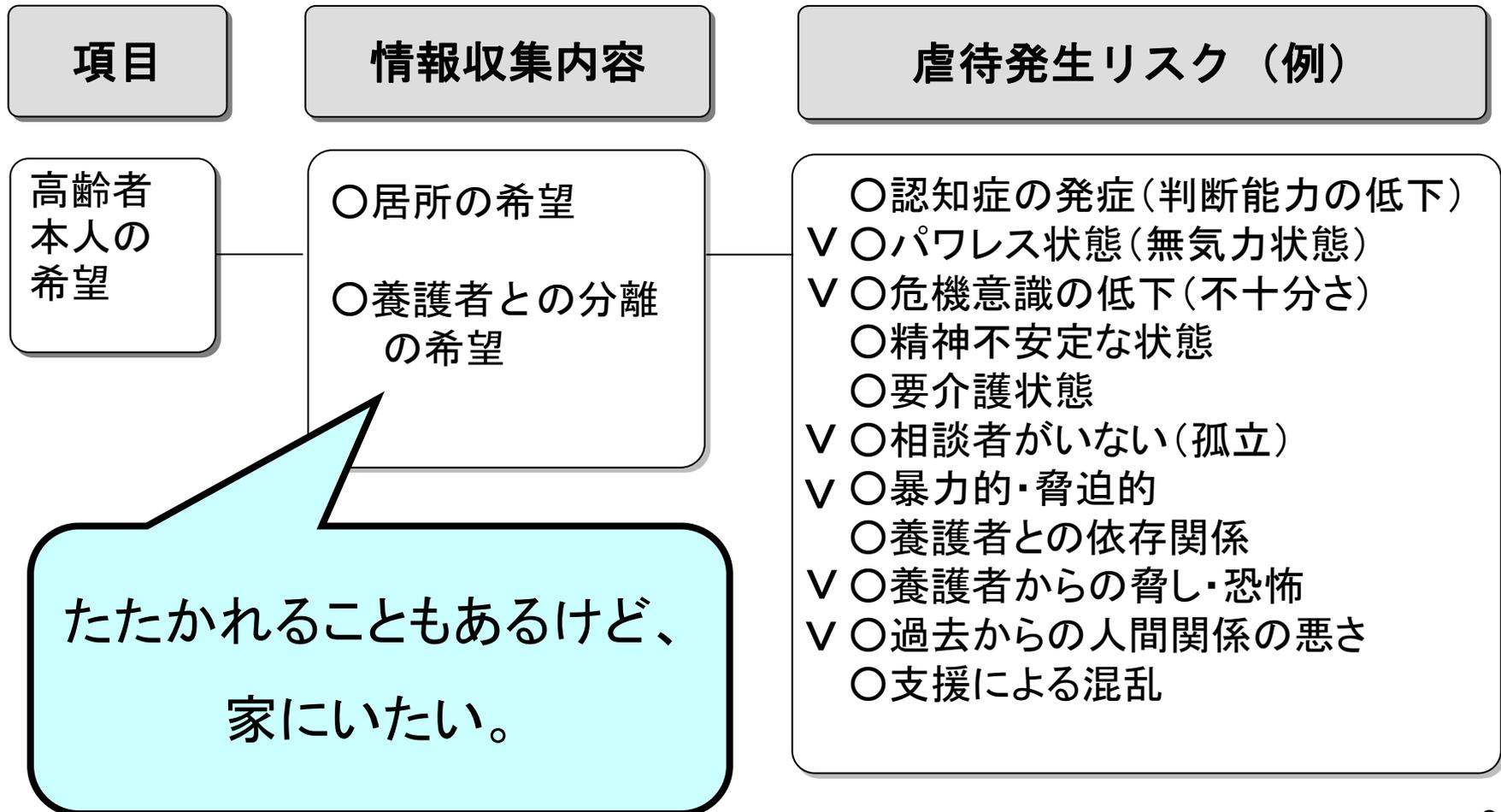
1) 高齢者本人の情報

- ① 基本情報
- ② 高齢者の意向・高齢者の置かれた状況
- ③ 高齢者の危機対処能力等
- ④ 本人の生活基盤(健康面・生活力)
- ⑤ サービス・制度の状況

情報と虐待発生リスクの関係

(手P. 82、●p86)

高齢者本人の意向(例)



(2) 情報整理項目と虐待発生リスクの例-2

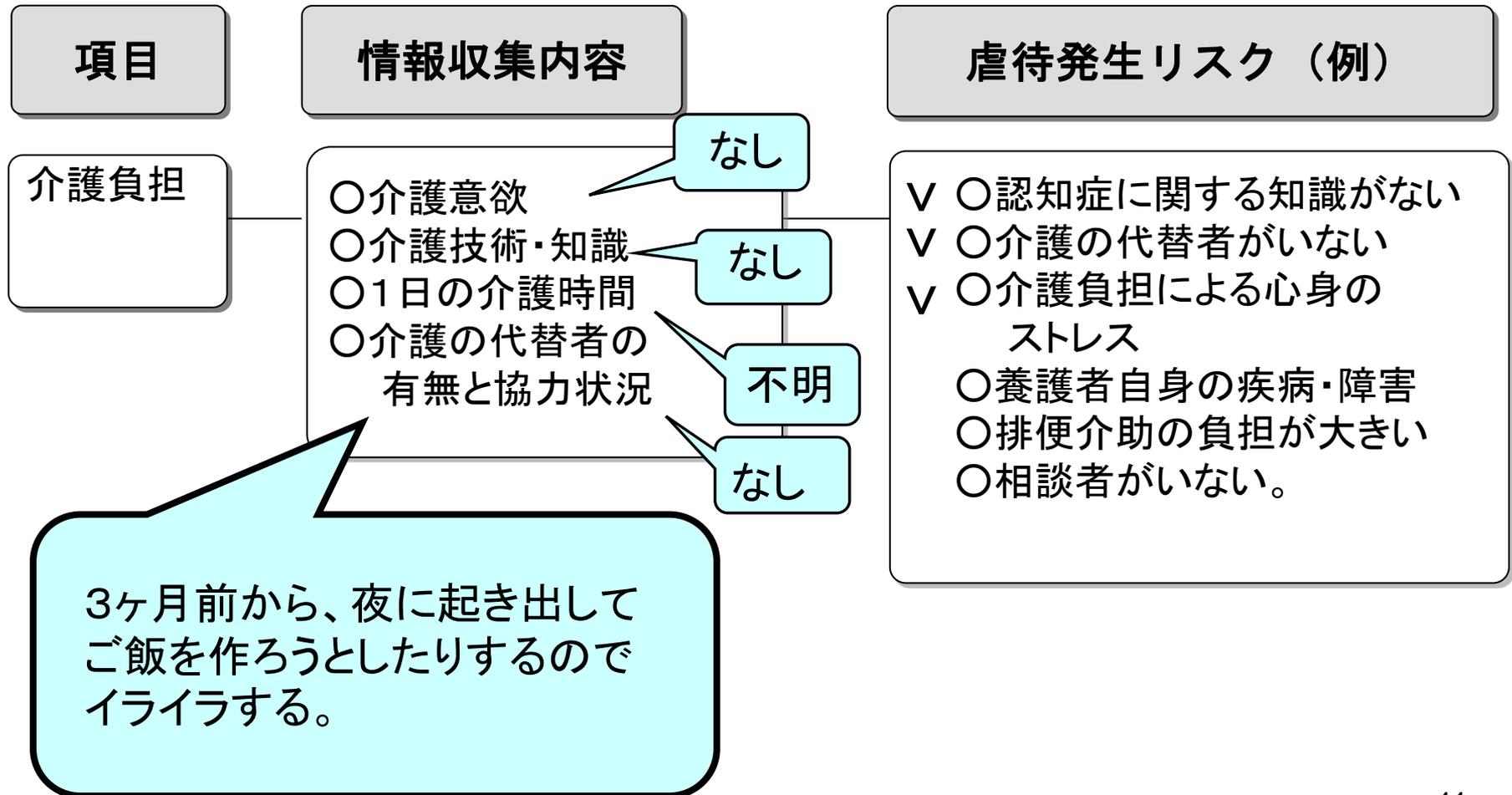
2) 養護者の情報

- ① 基本情報
- ② 養護者の意向と状態
- ③ 養護者の生活基盤(生活力)
- ④ 養護者の介護負担

情報と虐待発生リスクの関係

(手P. 87、●p91)

養護者の介護負担(例)



(2) 情報整理項目と虐待発生リスクの例-3

3) 家族関係

4) 近隣・地域住民等との関係

5) 地域の社会資源

6) エコマップ(現在対応を行っている部署
・機関の関係図)

【参考】アセスメント要約票(表面)例 (手P. 89、●p94)

アセスメント要約票		対応計画	____日 月 日
アセスメント要約日: 年 月 日		要約担当者:	
高齢者本人氏名:	性別・年齢: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 歳	居所:	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 入所・院
養護者氏名:	性別・年齢: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 歳	高齢者本人との関係:	別居の状況: <input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居
高齢者本人の希望	居所・今後の生活の希望: <input type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> 入所 <input type="checkbox"/> 不明 / 分離希望: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明		
	性格上の傾向、ご本人、対人関係等		
	高齢者の状態 意思疎通: <input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 特定条件のもとであれば可能 () <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不明 認知内容: <input type="checkbox"/> 一貫している <input type="checkbox"/> 変化する 生活意欲: <input type="checkbox"/> 意欲や気力が低下しているおそれ (無気力、無反応、おびえ、目をためらう、人目を避ける、等)		
1. 高齢者本人の情報を 面接担当者氏名: _____			
【健康状態等】			
疾病・傷病:	既往歴:		
受診状況:	服薬状況(種類):		
受診状況:	服薬状況(種類):		
診断の必要性: <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> その他 ()	具体的な症状等		
要介護認定: <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 要支援 () <input type="checkbox"/> 要介護 () <input type="checkbox"/> 申請中 (申請日: 年 月 日) <input type="checkbox"/> 未申請			
障害: <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 (<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない) <input type="checkbox"/> 知的障害 (<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない)			
精神状態: <input type="checkbox"/> 認知症 (<input type="checkbox"/> 診断あり <input type="checkbox"/> ない) <input type="checkbox"/> うつ病 (<input type="checkbox"/> 診断あり <input type="checkbox"/> ない) <input type="checkbox"/> その他 ()			
【危機への対応】			
危機対応場面において: <input type="checkbox"/> 自ら助けを求めることができる <input type="checkbox"/> 助けを求めることが困難			
避難先・送迎先: <input type="checkbox"/> 助けを求める場所がある () <input type="checkbox"/> ない			
【成年後見制度の利用】			
成年後見人等: <input type="checkbox"/> あり (後見人等:) <input type="checkbox"/> 申請中 (申請人: / 申請年月日:) <input type="checkbox"/> なし			
【各種制度利用】			
<input type="checkbox"/> 介護保険 <input type="checkbox"/> 自立支援法 <input type="checkbox"/> その他 ()			
【経済情報】			
収入額 月 _____万円 (内訳:) 預貯金等 _____万円 借金 _____万円			
1ヶ月に本人が使える金額 _____万円			
具体的な状況 (生活費や借金等):			
<input type="checkbox"/> 生活保護受給 <input type="checkbox"/> 介護保険料滞納 <input type="checkbox"/> 国民健康保険料滞納 <input type="checkbox"/> 後期高齢者医療制度保険料滞納 <input type="checkbox"/> その他 ()			
金融管理: <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 (判断可) <input type="checkbox"/> 全介助 (判断不可) <input type="checkbox"/> 不明			
金融管理者: <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> その他 ()			
【エコマップ】		【生活状況】	
		食 事 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		調 理 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		移 動 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		買 物 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		掃除洗濯 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		入 浴 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		洗 髪 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		服薬管理 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		預貯金等の管理 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		医療機関の受診 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
【その他特記事項】			

【参考】アセスメント要約票(裏面)例 (手P. 90、●p95)

II. 要介護者の情報 面接担当者氏名: _____		介護福祉士 UAD
【要介護者の希望】 訪問の希望: <input type="checkbox"/> 在宅 <input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 不明 / 分業希望: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明		
【既往状態等】 疾病・傷病: _____ 既往歴: _____ 受診状況: _____ 服薬状況(種類): _____ 受診状況: _____ 服薬状況(種類): _____ 診察の必要性: <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> その他() _____ 具体的な症状等⇒ _____ 性格的な優り: _____ 障害: <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 精神障害(□あり □無い) <input type="checkbox"/> 知的障害(□あり □無い)		□
【介護負担】 介護待高齢者に対する介護意欲: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 / 介護技術・知識: <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 不明 1日の介護時間: <input type="checkbox"/> ほぼ1日中 <input type="checkbox"/> 必要時のみ <input type="checkbox"/> 不明 / 介護の代替者: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 介護期間 (いつから始まったか、負担が大きくなった時期やきっかけ、最近の生活行動の変化など) 依頼開始と負担原因を明確に _____ 平均介護時間: およそ _____ 時間		
【就労状況】 <input type="checkbox"/> 就労 (就労曜日 _____ ~ _____ 就労時間 _____ 時 ~ _____ 時)、雇用形態 (□正規、□非正規) <input type="checkbox"/> 非就労 <input type="checkbox"/> 不明		□
【経済状況】 収入額 月 _____ 万円 (内訳:) 預貯金等 _____ 万円 借金 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 借金トラブルがある <input type="checkbox"/> 介護待高齢者の年金に生活費を依存 <input type="checkbox"/> 生活保護受給 <input type="checkbox"/> 介護保険料滞納 <input type="checkbox"/> 国民健康保険料滞納 <input type="checkbox"/> 後期高齢者医療制度保険料滞納 <input type="checkbox"/> その他() _____		
【近隣との関係】 <input type="checkbox"/> 良好 () <input type="checkbox"/> 挨拶程度 <input type="checkbox"/> 悪い <input type="checkbox"/> 関わりなし <input type="checkbox"/> 不明		□
III. 家族関係(家族歴、家族の抱える問題、家族の中の意思決定者、問題が起こったときの対処方法等) ※計画書(1)の「関連機関等連携マップ」で集約する		
IV. その他(近隣・地域住民等との関係、地域の社会資源、関係者・関係機関との関わり等) ※計画書(1)の「関連機関等連携マップ」で集約する		□
【全体のまとめ】 I~IVで抽出された介護待高齢者の要因の結果を踏まえて、分析、課題を整理する。 ※計画書(1)の「総合的な対応方針」、計画書(2)の「対応困難な課題/今後検討しなければならない事項」に反映する		
I. 高齢者本人 II. 要介護者 III. 家族関係(家族歴、家族の抱える問題、家族の中の意思決定者、問題が起こったときの対処方法等) IV. その他(近隣・地域住民等との関係、地域の社会資源、関係者・関係機関の関わり等) V. 今後の課題		

虐待対応計画(案)の作成

(手P. 91、●p96)

ポイント

- ◆虐待対応計画は、虐待の解消と高齢者が安定した生活を送るための環境を整えるために必要な対応を、チームとして計画的に進めていくために作成するものである。
- ◆虐待対応計画は、市町村担当部署と地域包括支援センターとで連携して案を作成した上で、その後の虐待対応ケース会議で、課題や目標、役割分担と期限などを確認の上、決定し、実行する。

(1) 虐待対応計画作成の目的

- ① 市町村が主催するケース会議における虐待対応計画の協議・決定、協力機関とのチームによる計画の推進は、第9条第1項、第16条の趣旨を具体化するものと言える
- ② 高齢者の生命や身体、財産を守るために必要な対応を、市町村の責任において実施するために作成する
- ③ 虐待対応計画作成にあたっては、高齢者の自己決定への支援、高齢者と養護者の利害対立への配慮、虐待発生要因と関連する課題への支援、養護者支援機関へのつなぎなどを重視して作成することが求められる

個々の虐待発生リスクから
虐待発生要因を導きだし、
虐待対応計画に反映させる考え方の例

(手P.94、●p99)

ステップ1 収集した「高齢者」、「養護者」、「家族」に関する 情報から、個々の虐待発生リスクにチェックを入れる①

<高齢者>

(手P.95、●p100)

情報をアセスメント要約票へチェックする

I. 高齢者本人の情報 面接担当者氏名:		虐待発生 リスク
【健康状態等】		
疾病・傷病 :	既往歴 :	
受診状況 :	服薬状況(種類) :	
受診状況 :	服薬状況(種類) :	
診断の必要性: <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> その他() 具体的症状等⇒		<input checked="" type="checkbox"/>
要介護認定 : <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 要支援() <input type="checkbox"/> 要介護() <input type="checkbox"/> 申請中(申請日: 年 月 日) <input type="checkbox"/> 未申請		
障害 : <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 精神障害(<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 疑い) <input type="checkbox"/> 知的障害(<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 疑い)		
精神状態 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症(<input checked="" type="checkbox"/> 診断あり <input type="checkbox"/> 疑い) <input type="checkbox"/> うつ病(<input type="checkbox"/> 診断あり <input type="checkbox"/> 疑い) <input type="checkbox"/> その他()		

【生活状況】

- 食事 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 調理 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 移動 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 買物 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 掃除洗濯 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 入浴 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 排泄 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 服薬管理 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 預貯金年金の管理 (一人で可 一部介助 全介助 不明)
- 医療機関の受診 (一人で可 一部介助 全介助 不明)

ステップ1 収集した「高齢者」、「養護者」、「家族」に関する 情報から、個々の虐待発生リスクにチェックを入れるー②

<養護者>

情報をアセスメント要約票へチェックする

「養護者の希望」、
「健康状態等」の
欄はここでは省略

II. 養護者の情報 面接担当者氏名:		虐待発生 リスク
【介護負担】		
被虐待高齢者に対する介護意欲: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	介護技術・知識: <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 不明	
1日の介護時間: <input type="checkbox"/> ほぼ1日中 <input checked="" type="checkbox"/> 必要時のみ <input type="checkbox"/> 不明	介護の代替者: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	
介護期間 (いつから始まったか、負担が大きくなった時期やきっかけ、最近の生活行動の変化など) ※期間と負担原因を明確に		
仕事から帰ってくる時間は夜中だったり、昼間だったりばらばら。それでも母親は起きていて、疲れているのに、飯はまだか、腹が減ったと同じことを何度も言うため、いらいらして大きな声を出してしまう。		
平均睡眠時間: およそ _____ 時間		

ステップ1 収集した「高齢者」、「養護者」、「家族」に関する 情報から、個々の虐待発生リスクにチェックを入れるー③

＜家族関係、近隣・地域住民等との関係、地域の社会資源＞

情報をアセスメント要約票へチェックする

Ⅲ. 家族関係(家族歴、家族の抱える問題、家族の中の意思決定者、問題が起こったときの対処方法等)	虐待発生リスク
<p>※計画書(1)の「関連機関等連携マップ」で集約する</p> <p>＜養護者から聞き取った情報＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の夫が亡くなった5年ほど前から親族とのつき合いは疎遠。 ・県外に住む長男とも10年以上連絡をとっていない。「親父の介護のことで、母親と兄貴の嫁が喧嘩して、それから帰ってきていない。親父の葬式にも来なかった。」 	<p>■</p>
Ⅳ. その他(近隣・地域住民等との関係、地域の社会資源、関係者・関係機関との関わり等)	虐待発生リスク
<p>※計画書(1)の「関連機関等連携マップ」で集約する</p> <p>＜近隣住民から聞き取った情報＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者はもともと近隣住民と付き合いがあり、現在も次男から怒られると近隣住民宅に避難している。 ・「次男は仕事で帰りが遅いようだから、ほとんど顔を合わせたことはない。」 	<p>■</p>

ステップ2 個々の虐待発生リスクを関連づけ、虐待発生要因を抽出し、課題を整理する

ステップ1で導き出された5つの虐待発生リスクの相互の関係性から、虐待発生要因を抽出する。

(アセスメント要約票「全体のまとめ」での情報の整理)

〔全体のまとめ〕: I～IVで抽出された虐待発生の要因の結果を踏まえて、分析、課題を整理する。

I. 高齢者本人:

II. 養護者:

III. 家族関係:

IV. その他(近隣・地域住民等との関係、地域の社会資源、関係者・関係機関の関わり等):

V. 今後の課題

→ <虐待発生要因①> 介護負担増・介護代替者がいない

→ <虐待発生要因②> 認知症を理解していない

→ <虐待発生要因③> 養護者は兄弟や近隣と疎遠・孤立傾向にある

ステップ3 虐待発生要因解消を主眼とした、虐待対応計画案をまとめる①

＜総合的な援助の方針＞

ステップ1で導き出された5つの虐待発生リスクの相互の関係性から、虐待発生要因を抽出する。

- 虐待発生要因①（介護負担増・介護代替者がいない）を解消するために、介護保険サービスの利用につなげ、養護者の介護負担を軽減する必要がある。
- 虐待発生要因②（認知症を理解していない）を解消するために、養護者に本人の認知症の理解をうながす必要がある。
- 虐待発生要因③（養護者は兄弟や近隣と疎遠・孤立傾向にある）を解消するために、高齢者、養護者それぞれの意向や次男の近隣、兄弟との関係づくりに向けた対応を検討する必要がある。

表1表		高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(1)		決 定 額 (円)	
				課 費	保 費
				担当者	
高齢者本人氏名	取	計 画 中 成 果	見 込 け	押 込 け	進 捗 率
計 画 中 成 果	地域包括支援センター	計 画 の 進 捗 率: ____ 日 (計画開始日) 年 月 日			
計 画 中 成 果		計 画 中 成 果 日 年 月 日			
会議日時		会議日時	年 月 日	時 分	時 分
出席者		出席者	氏名	氏名	氏名
			氏名	氏名	氏名
			氏名	氏名	氏名
			氏名	氏名	氏名
高齢者本人の意見・希望		関連関係図			
地域者の意見・希望		※「アセスメント(関係)」の図、IVを参照する			
総合的な対応方針		虐待関係			
		10年以上連絡をとっていない			

(高齢者虐待対応
ケース会議記録・計画書(表))

ステップ3

虐待発生要因解消を主眼とした、虐待対応計画案を

まとめる②

<高齢者に対する課題・目標・役割分担・期限>

(ア) 虐待発生要因①(介護負担増・介護代替者がいない)を解消するために

<養護者に対する課題・目標・役割分担・期限>

(ア) 虐待発生要因①(介護負担増・介護代替者がいない)を解消するために

(イ) 虐待発生要因②(認知症を理解していない)を解消するために

第2表		高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(2)				決裁欄(例)	
				課長	係長	担当者	
対象	虐待種別	課題	目標	対応方法(具体的な役割分担)			
				何卒・どのように	関係機関・担当者等	実施日時・期間	評価日
高齢者	1	身の回りのことができなくなっている。	介護保険サービスを利用し、清潔や栄養の改善を図る。	介護保険サービスについて説明し、利用の意向を確認する。	地域包括支援センター主任介護支援専門員		
	1	母親が認知症を発症していることを理解できていない。	認知症について理解し、母親の認知症の症状に、適切に対応できるようにする。	精神科医から認知症について説明してもらえよう、依頼する。	地域包括支援センター保健師		
養護者	2	介護の代替者がおらず、負担が集中している。	し、清潔や栄養の改善を図る。介護負担を軽減する。	介護保険サービスについて説明し、利用の意向を確認する。	地域包括支援センター主任介護支援専門員		
	その他の家族関係者						
対応が困難な課題/今後検討しなければならない事項など(虐待終結に向けた課題等を記載)				計画評価予定日	年	月	日
サービス導入後、一定時間において、今後の同居継続に向けた高齢者、養護者それぞれの意向や次男の近隣、兄弟との関係づくりに向けた対応を検討する必要がある。							

虐待発生要因③(養護者は兄弟や近隣と疎遠・孤立傾向にある)は、今後対応していく課題であるので、「今後検討しなければならない事項」欄に記入する

※記入欄が足りない場合は、様式を追加して記入

社団法人日本社会福祉士会 作成 Ver II-2(出典:東京都健康長寿医療センター研究所「支援計画書(第2版)」、新潟県三条市作成様式を参考に作成)

虐待対応ケース会議

(手P. 101、●p106)

ポイント

- ◆虐待対応ケース会議は、当該事例に関係する機関が、必要な対応をチームとして行うために、虐待対応計画について内容を協議し、決定する場である。

(1) 虐待対応ケース会議の開催

1) 出席者

市町村担当部署の職員と地域包括支援センター職員で構成する。

終結を意識した虐待対応計画案を作成する段階で、関与してもらう関係機関に出席を依頼する。

市町村担当部署から出席を依頼する。

- ・高齢者の課題に対応している機関の職員
- ・養護者支援を行っている機関の職員
- ・家族への支援を行っている機関の職員
- ・虐待対応専門職チームの弁護士、社会福祉士

2) 役割分担

【市町村担当部署】

- ・会議の招集、関係機関への会議の出席依頼、必要な資料の準備、
- ・会議記録の作成・保管 など

【地域包括支援センター】

- ・虐待対応計画書案及び虐待対応計画(帳票類)の作成 など

3) 協議事項

- ①虐待対応計画書案についての協議・決定
- ②会議記録の作成・共有

虐待対応計画を作成したら・・・

